

前回協議会での質問事項について

令和4年11月18日開催の図書館協議会にて、委員からご質問等をいただきました。
その対応状況等についてお知らせいたします。

No.	委員からの質問・要望	対 応 状 況	内 容 ・ 理 由
1	年報記載のホームページアクセス件数について、集計方法等を変更したのなら、何らかの方法で説明した方が良いのでは。	対応完了	ホームページの資料を修正し、グラフには以下の文言を挿入しました。 「※R2年度分までは北九州市ホームページの図書館関連ページのアクセス件数を計上していたが、R3年度分から北九州市立図書館ホームページのアクセス件数を計上している。」
2	年報21ページのグラフの単位を「千」から「万」へ変更したほうが良いのでは。	対応予定	北九州市の図書館（年報）令和5年度より、単位を万に変更する。
3	年報の各種データは市のオープンデータサイトに掲載をお願いしたい。	対応予定	年報のデータは多岐にわたっており、掲載するデータについて検討中である。
4	子ども司書養成講座について、夏休み以外でも開催を検討してほしい。	対応困難	本講座は、5週にわたるシリーズものとなっており、参加しやすい連続した日程の確保が必要なこと、また、講座受講後、学校での活動実践までを含めた内容となっており、春休み等ではその継続性が損なわれることなどを考慮すると、現時点では、夏休み以外の開催は困難であると考えている。
5	図書館評価の項目について、学習室に関する項目を作成してはどうか。	検討課題	学習室は、時期によって利用状況が大きく異なる等の課題があり、今後のより効果的、効率的なサービスのあり方を考えていく上で、何らかの評価を行うことは必要だと考えている。このため、どのような視点からの評価が適切か等について検討してまいりたい。
6	図書館評価の項目について、障害者サービス、多文化サービスに関する項目を作成してはどうか。	対応予定	障害者サービス及び多文化サービスの内容については「視点4、方向性（2）、具体的取組④」で記載している。内容をより明確にするため、具体的取組の表記を修正する。 【案】 障害者・在住外国人などあらゆる人が利用しやすいサービスの充実
7	読書機会の創出のため、QRコード等を利用したサービスを始めては。 （例）美術館の作品にQRコード貼りつける。読み込むと関連図書に案内する。	検討課題 ※例示については、対応困難	現在、図書館のサイトに直接アクセスできるQRコードを、予約通知メール案内（窓口で予約された方に配布する用紙でホームページへ誘導）に掲載している。同サイトの蔵書検索システムでは、入力したキーワードを含むタイトルの蔵書の一覧及び貸出状況が表示され、利用登録者は貸し出し予約も出来る。 蔵書検索システムのメーカーは関連本の抽出機能も開発中と聞いており、これが利用可能になればより便利になる。読書機会の創出にも寄与すると考えられるため動向を注視したい。 今後もQRコード等を活用し、図書館のサイトへよりアクセスしやすくする等について検討したい。なお、例示については、図書館による事前の関連図書選書及びデータベース構築等が必要になり負担が大きいことから困難である。
8	司書の負担軽減のため、本の消毒機や自動貸出機の導入を検討しては。	検討課題	【消毒機】 消毒機については、一回の処理数が3冊程度であるため複数台が必要となるなど費用等の課題があるため、現時点では導入困難だが研究はしたい。 なお、コロナ禍前から、全ての返還書籍について、手作業による表裏表紙の拭き上げとともに、汚破損の確認及び必要な修復を行っており、消毒機を導入しても作業負担が大きく軽減されることは期待できない。 【自動貸出機】 現在のところ専用ICタグの価格が低下しない等、依然として費用等の課題があることから、引き続き検討を続けたい。